

基山町民ひとりひとりの個性が輝くまちづくり ～第2次基山町男女共同参画推進プラン～

令和3年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズ決定！ 「女だから、男だから、ではなく、私だから、の時代へ」

問 まちづくり課 協働推進係 ☎92-7935

毎年6月23日から6月29日までの1週間は「男女共同参画週間」です。

「自分を好きになって、自分を信じ、創り上げた自由な発想が受け入れられる社会。みんなで築いていく・みなさんが進んでいく社会への願い・想いのこもったキャッチフレーズ」として選ばれました。

「男女共同参画社会基本法」の公布・施行日である平成11年6月23日を踏まえ、毎年6月23日から29日までの1週間を「男女共同参画週間」として、男女共同参画社会基本法の目的や基本理念について理解を深めることを目指しています。ぜひ、この機会に、ひとりひとりの個性を生かし、自分らしく生きることができる社会について考えてみてください。

男女共同参画パネル展示～ご来場ください～

- ▽日時：6月19日（土）～6月25日（金）
- ▽場所：町民会館1階 ホワイエ（最終日は午後3時まで）
- ▽パネル内容：「男女共同参画の視点で みんなでつくろう！安全・安心な避難所」

特設図書コーナー～ご利用ください～

男女共同参画週間期間中、基山町立図書館に男女共同参画に関する図書コーナーを設置しています。この機会に、ぜひ、ご利用ください。

▽日時：6月1日（火）～6月29日（火）

私らしく生きる



このみ文化教室 代表
縁結び・講談・手品・
お笑い・ハーモニカ
武若コノミさん（75歳）
夫 武若宏明さん（79歳）

◆夫から見たコノミさん
コノミさんは、自宅から徒歩5分の別邸で文化教室を開催し、一人暮らしの具合の悪い弟の面倒をみながら、夫とは別に暮らす生活が続いています。夫の宏明さんは掃除・洗濯・炊事も一人でこなしています。夫婦仲良しの秘訣は、二人で毎朝のウォーキングと自宅の花づくり、SNSで連絡をいつも取っていることです。

◆婚活支援
23歳から人と人を繋げる縁結びを始めて、現在まで多くのカップルが誕生しています。

◆仕事
48歳で、県を越えての転勤命令を受けました。「家の事はオレにまかせて頑張っておいで」と夫に言われ、安心して広島への単身赴任を決心することができました。

◆当時を振り返り
まだめづらしかった女性の管理職への登用は自身も家庭も全員大変でしたが、あしがかりを作ることにしたのでと喜んでいました。

◆町民の皆様へ一言
町に住んで40年が過ぎ、ふるさとなつていきます。夫は、全国転勤の中、この町に住みやすく、移住しました。基山がもつと良くなってほしい。高齢者が増えていますが、皆、笑い合つて楽しく暮らしたいです。

◆コノミさんは、第1次基山町男女共同参画推進プラン策定委員、また、宏明さんは第2次基山町男女共同参画推進プラン策定委員を務められました。

募集

令和3年度は、毎月1日号に「第2次基山町男女共同参画推進プラン」の記事を連載します。

この「私らしく生きる」に掲載する人物をご紹介ください。

※問合せ先 まちづくり課 協働推進係 ☎92-7935

チェックしてみましょう！

- 家族を養うのは男性の役割だと思ふ。
- 子どもの参観日やPTA活動に出席するのは、母親の方がよい。
- 家事や育児、介護は女性だけの仕事だと思ふ。
- PTA会長や自治会長などは男性の方が向いていると思ふ。
- 妻が仕事をする場合、家庭に支障をきたさない程度にするべきだと思ふ。
- 男性が育児休業をとるのはおかしいと思ふ。
- 残業をしている女性を見ると、「子どもや夫がかわいそう」だと思ふ。
- 男性がお茶を入れることには抵抗がある。
- 家庭で物事を決めるときは、父親の意見が優先されるべきだと思ふ。
- セクハラに敏感になりすぎると仕事がやりづらいつと思ふ。

□一つでもチェックがついたあなた、男だからこうあるべき、女だからこうするべきと思ひ込んではいませんか？
お互いを一人の人間として尊重する、対等な関係づくりをしていきましょう。

交通安全指導員の紹介

4月から2年間の任期で20名の方が基山町交通安全指導員として町長から委嘱されました。児童を交通事故から防ぐため横断歩道で交通指導を行うほか、各小学校や保育所、幼稚園での交通安全教室、街頭での交通安全指導を行っています。

朝の通学時間は、通勤時間でもあります。児童に対する思いやりのある運転を心がけましょう。
 (敬称略) ※問合せ先 住民課 ぐらしの安心・安全係 ☎8518171



教育委員を紹介します

津川典善氏が、令和3年4月20日から基山町教育委員会教育委員として任命されました。
 (任期：令和3年4月20日～令和7年4月19日)



津川典善氏

「きやまづくり大学2021」前期日程の受講生の募集

町では、町の魅力や課題を学び、情報の発信や解決策を実践する人材の育成を図るために「きやまづくり大学」を開校しています。

きやまづくり大学では、基山町の歴史や文化、町内外で頑張っている企業や町民活動団体の代表等、まちづくりに関わり活躍する方を講師に迎え開催しています。

※問合せ先 まちづくり課 協働推進係 ☎9217935
 Eメール kyodosuisin-2@town.kiyama.lg.jp

▽講義スケジュール

1 時間目	6月26日(土)	▽定員	定員20名程度(先着順)
2 時間目	7月17日(土)	▽受講料	無料
3 時間目	8月28日(土)	▽申込期限	6月25日(金)まで
4 時間目	9月26日(日)	▽申込方法	申込書に必要事項を記入の上、まちづくり課宛に持参、Eメールにてお申込みください。
5 時間目	10月31日(日)		申込書は基山町役場まちづくり課で入手できるほか、ホームページからダウンロードもできます。

▽開催場所

基山町民会館 1階会議室
 ※4時間目のみ基山町民会館視聴覚室で行います。